

2021 年9月社長会見

2021年9月27日

1. 営業・輸送概況
2. 山陽新幹線の保守基地新設
3. WESTER を通じたサービス改革

詳細

1. 営業・輸送概況

【運輸取扱収入（速報値）】

収入ですが、対前々年比で8月は43.7%、9月は21日までで41.1%です。

	前年同月比			
	収入計	近距離券	中長距離券	定期券
8月	106.2% (43.7%)	101.0% (53.9%)	115.3% (33.3%)	95.1% (82.5%)
9月(9/1~21)	86.6% (41.1%)	87.0% (54.4%)	83.9% (31.9%)	91.1% (58.9%)

※実績は直営の速報値。駅などでの取扱高(消費税を含む)を示すものであり、旅行会社での発売分などを除きます。
※ () 内は、2019年10月からの消費税増税分を除いた前々年同月比。

【新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）】

ご利用については、山陽新幹線は対前々年比で8月は31%、9月は29%、近畿圏では8月は59%、9月は60%です。

8月、9月とも緊急事態宣言下にあり、ご利用状況は低調に推移しています。

新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあると共に、9月末には国民の6割近くがワクチン接種を2回終える見込みと聞き及んでいます。

また、行動制限の緩和についても検討されており、今後の経済活動の回復に期待しています。

我々としても、引き続き感染対策を実行しながら、安全・安心な輸送の提供に努めていきます。

	前年同月比			
	山陽新幹線	北陸新幹線	在来線特急	近畿圏
8月	126% (31%)	123% (28%)	98% (25%)	100% (59%)
9月(9/1~21)	79% (29%)	76% (26%)	72% (25%)	88% (60%)

※実績は速報値。近畿圏は近距離券発売実績の前年同月比。
※ () 内は前々年同月比。

2.山陽新幹線の保守基地新設

【山陽新幹線の保守作業の現状】

新幹線の高速走行を支える保守作業は、営業列車の運転が終了し、翌朝、運転を開始するまでの限られた夜間の時間で実施しています。現在、山陽新幹線沿線には13カ所の保守基地があり、そこから保守用車が出入りして作業を行っています。

保守基地を設置している間隔は平均40キロ程度ですが、保守基地から作業現場までの距離が遠くなるほど、移動に時間がかかるため、一日あたりの保守用車による作業時間をいかに確保するかという課題がありました。

そこで今回、隣接する保守基地間の距離が約82キロと最も長い姫路～岡山間に、保守基地を新設することとしました。

・深夜～早朝(0時～6時)の限られた時間の中で高速走行を支える保守作業を実施

・保守作業に使用する保守用車の留置、
工事材料の保管等を行うための保守基地が
山陽新幹線では、現在13カ所存在



課題 基地間の距離が長い区間では、作業箇所までの移動に時間を要し、作業時間が短くなる
姫路～岡山間の保守基地新設により作業時間を拡大し、効率的な保守作業を目指す

【新設する保守基地の概要】

保守基地の名称は「帆坂保守基地」とし、10月1日から運用を開始します。

主な設備として、クレーン設備やバラスト積み込み設備、検修庫などを設置しており、他の保守基地と同様に、幅広い作業に対応することが可能となっています。

なお、保守基地の新設は1975年の山陽新幹線全線開通後、初めてのことです。

- ◆名称：帆坂（ほさか）保守基地 ※姫路保守基地～岡山保守基地間（兵庫県赤穂市）
- ◆運用開始：2021年10月1日



保守基地 全景



留置線 全景

用地面積：約23,900㎡
留置線総延長：約1,600m

主な設備	用途
移動式門型クレーン	資機材の積込・取卸
バラスト積み込み設備	バラスト交換時に使用
検修庫	保守用車の検査実施
給油設備	保守用車への給油



移動式門型クレーン



バラスト積み込み設備

【保守基地新設による効果】

帆坂保守基地の新設による効果は3点あります。

1点目は、効率的な保守作業が可能になるという事です。移動に要する時間の短縮効果が最も大きい場合で、従来の作業時間約60分と比べ、3倍となる約180分の作業時間を確保することができます。

これにより、大型保守用車を有効活用することで、保守作業の効率を高めることが出来ます。

2点目は、新幹線の安全・安定輸送の確保です。

自然災害などが発生した際、この保守基地が点検・復旧のための拠点となり、早期運転再開が可能となります。

また、地震対策においても「逸脱防止ガード」の敷設が進みやすくなり、地震による減災対策を図ることが出来ます。

最後に3点目ですが、保守用車を活用することで、人による作業が軽減され、労災防止や保守作業従事者の労働環境の改善につながります。

SDGsの観点からも、計画的かつ効率的に地上設備更新や地震対策などを実施することにより、社会インフラを担う責務を果たすとともに、サプライチェーン全体の働きやすい環境を提供していくことにつながるものと考えています。

◆効率的な保守作業が可能

- ・ 移動に要する時間が短縮されるため、現行と比較して最大約3倍(約60分→約180分)の作業時間の確保が可能
→ 1日あたりの作業時間が増加し、大型保守用車による効率的な保守作業が可能

(設備の更新例)

まくらぎ 25本/日→160本/日

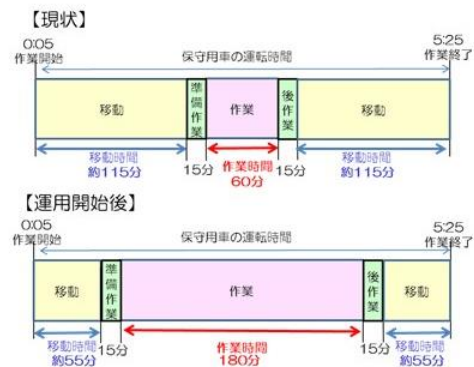
道床 15m/日→40m/日

◆新幹線の安全・安定輸送の確保

- ・ 自然災害等発生時の点検・復旧のための拠点となり、早期運転再開が可能
- ・ 地震対策の更なる推進
→ 逸脱防止ガードの計画的な敷設を実施し、地震発生時の減災対策を推進

◆労災防止や働く人の環境改善

- ・ 大型保守用車の活用による保守作業従事者の労働負担の軽減



※大型保守用車の例



新型道床交換機



逸脱防止ガード運搬車

3.WESTERを通じたサービス改革

【WESTER・ICOCAを中心とした新たなサービスの実現】

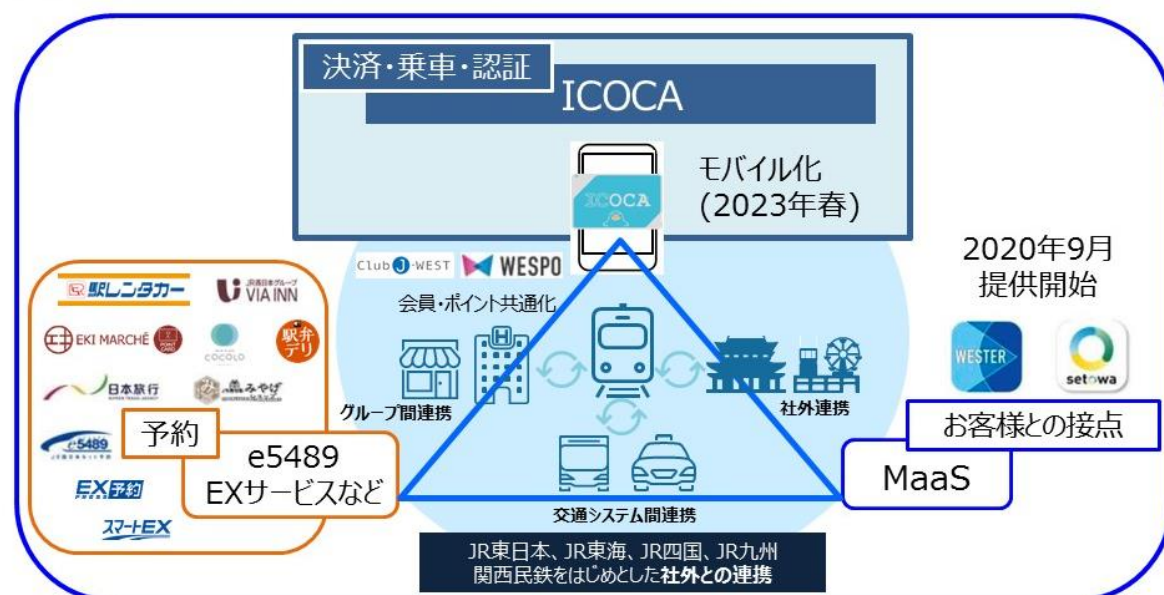
新型コロナウイルス感染症の拡大により、デジタル世界が広がる10年先の未来が急に訪れた状況であり、変化に対応する力を身につけ、これまでとは抜本的に違った事業構造改革、サービス改革を実現しなければならないと考えています。

グループデジタル戦略に基づき、「WESTER」や「ICOCA」を中心に、各種予約サービスや、社外の様々なサービスとのつながりを深めます。

そして、「個」に応じたお客様の移動や生活、観光を便利にするサービスの実現により、当社グループをご利用いただく機会を増やすことを目指しています。

本日は、デジタル空間におけるお客様接点を担うWESTERについて、これまでの取り組みと今後の展開についてご紹介します。

・ICOCAやMaaSアプリを活用し、移動や生活サービスをシームレスに連携



「個」に応じた、お客様の移動や生活、観光を便利にするサービスを構築

【お客様に寄り添うサービスの迅速な実現と多様な連携拡大】

現在、WESTERを通じて、お客様の様々なニーズやコロナ禍での環境変化に速やかに対応したサービスの拡充を進めています。

また、他の鉄道会社の駅情報に関する連携を進め、シームレスな移動のサポートにも取り組んでいます。さらに、最近では、京都サンガやUSJと協業して、出資先であるギックス社と連携したAIスタンプラリーを企画しています。

このように、WESTERを通じて、様々なサービスを多様なパートナーと連携し、提供することで、お客様により便利で楽しく、おトクに移動やお買い物、観光をして頂くことを期待しています。

これらの取り組みを、西日本エリアを中心に広げていくことで、移動・生活の中で当社グループもご利用いただく機会を増やし、地域とともに成長していきたいと考えています。

➤ 主なサービス拡充

時期	内容
2021.3	リアルタイム経路検索（実証実験）開始 会員メニュー機能追加 e5489・列車走行位置との連携改善
2021.4	おトクにGO！機能追加 高速バスネットとのリンク開始
2021.6	新型コロナウイルスワクチン大規模接種会場の 情報提供開始 #環状LIVE機能追加



#環状LIVE



➤ 多様な連携（駅情報、AI活用スタンプラリー）

時期	駅情報連携先（10社約600駅）
2021.4	広島電鉄、JR四国、IRいしかわ鉄道、 あいの風とやま鉄道、富山地方鉄道
2021.6	JR九州（一部駅）、福井鉄道、えちぜん鉄道、 のと鉄道、えちごトキめき鉄道

時期	AI活用スタンプラリー連携先
2021.8	京都サンガF.C. WESTER de スタンプラリー
未定	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン おでかけクエスト！



TM & © Universal Studios. All rights reserved.
CR21-0926A/S A21-C65

WESTERを使ってより楽しく・おトクに移動やお買い物、観光をして頂く機会を増やし、成長へ

【WESTER アップデート～ICOCA 残高表示機能など～】

そして、より「便利に」「身近に」WESTERをご利用していただけるよう、様々な取り組みを展開していきます。

まず、アップデートの内容です。

お持ちのICOCAをスマホの後ろにかざすだけで残高を確認できる「ICOCA残高表示機能」を追加しました。これにより、事前にご確認頂くことで、ICOCAを安心してスピーディーにご利用頂けます。

そのほか、乗り過ごし防止に役立つ「乗降アラーム機能」も追加するなど、WESTERをより「便利に」「身近に」ご利用頂けるようになりました。

- WESTERで「いつでも」残高が確認でき、もっと「便利に」「身近に」ICOCAがご利用になれます
- 残高を事前に確認することで、安心してスピーディーにICOCAでのお支払い体験ができます



「ICOCA残高」「スキャンする」をタップして
スマホの後ろにかざすだけ

その他の主な機能拡充

- 乗降アラーム機能（乗り過ごしを防止するための通知設定機能）の追加
⇒乗換・降車駅などの到着前に通知を設定することで、乗り過ぎの防止に役立ちます

- おトくにGO！のユーザー・インターフェース改善
⇒日常生活に楽しみ、おトク・便利さを添えるキャンペーン等がよりわかりやすく、参加しやすくなりました

【移動も生活も、様々なパートナーとつながる WESTER】

さらに、様々なパートナーとの連携を強化します。

JR東日本との時刻表やバリアフリー設置状況などが確認できる駅情報連携や、JR東日本の北陸新幹線各駅及びJR九州の九州新幹線各駅について、両社が提供している列車走行位置情報をWESTERで表示できるようにするほか、10月には京阪ホールディングスなどと、奥京都エリアを舞台にしたAIスタンプラリーを共同企画しています。

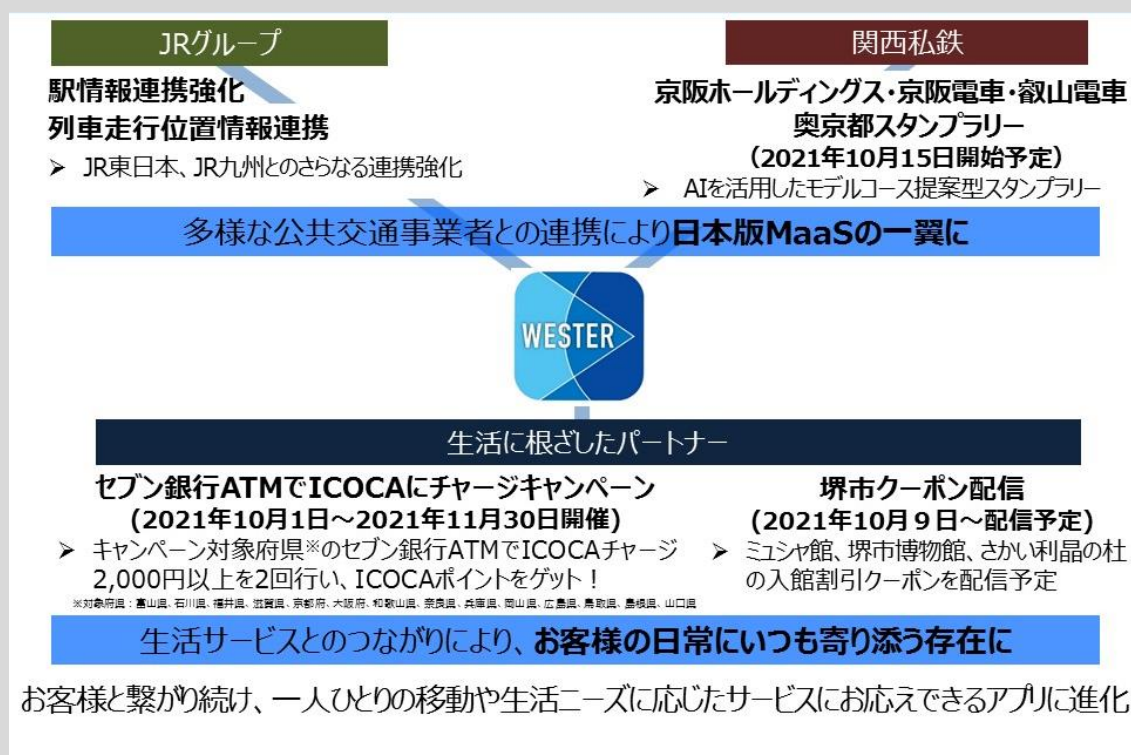
お客様に楽しく回遊いただく仕掛けを通じて新たな需要の創出に挑戦し、地域の活性化にもつながっていきたくと考えています。

WESTERを通じ、多様な交通事業者との連携を広げ、日本版MaaSの一翼を担うことにより、様々なお客さまとつながり、お客さまの移動ニーズにお応えし続けていきたいと考えています。

また、セブン銀行とも連携し、WESTERと連動してセブン銀行ATMでのICOCAチャージキャンペーンを実施します。

交通だけでなく、生活の中でもICOCAを利用して頂き、ICOCAやWESTERが日常生活に寄り添える存在になることを目指します。

このような取り組みを迅速に進めることで、お客様と常につながり、対話し続け、一人ひとりの移動や生活ニーズに応じたサービスにお応えできるアプリに進化させていきます。



＜次世代モビリティサービス実現への挑戦＞

最後に、ソフトバンク株式会社様と当社による共同開発プロジェクトについてです。

昨年3月に自動運転技術を用いたBRTの開発を開始することをお知らせしたところですが、この度、専用テストコースが完成し、自動運転と隊列走行技術を搭載した専用車両による実証実験を開始することとなりました。

これは、人口減少や少子高齢化、労働力不足、カーボンニュートラルなどの社会課題がある中においても、お客様・地域の皆様の安全で豊かな暮らしを支え続けていくために、オープンイノベーションで新たなモビリティサービスを構築していくという、挑戦的な取り組みです。

今後、このモビリティサービスを社会実装していくために、2023年の技術確立を目標に実証実験を重ねていきます。

当社営業エリア内外を問わず、地域のまちづくりや観光振興策、Ma a Sの取り組みと連携しながら、本モビリティが適している場所への導入を、皆様と一緒に目指していきたいと考えています。